

岩手県森林公園

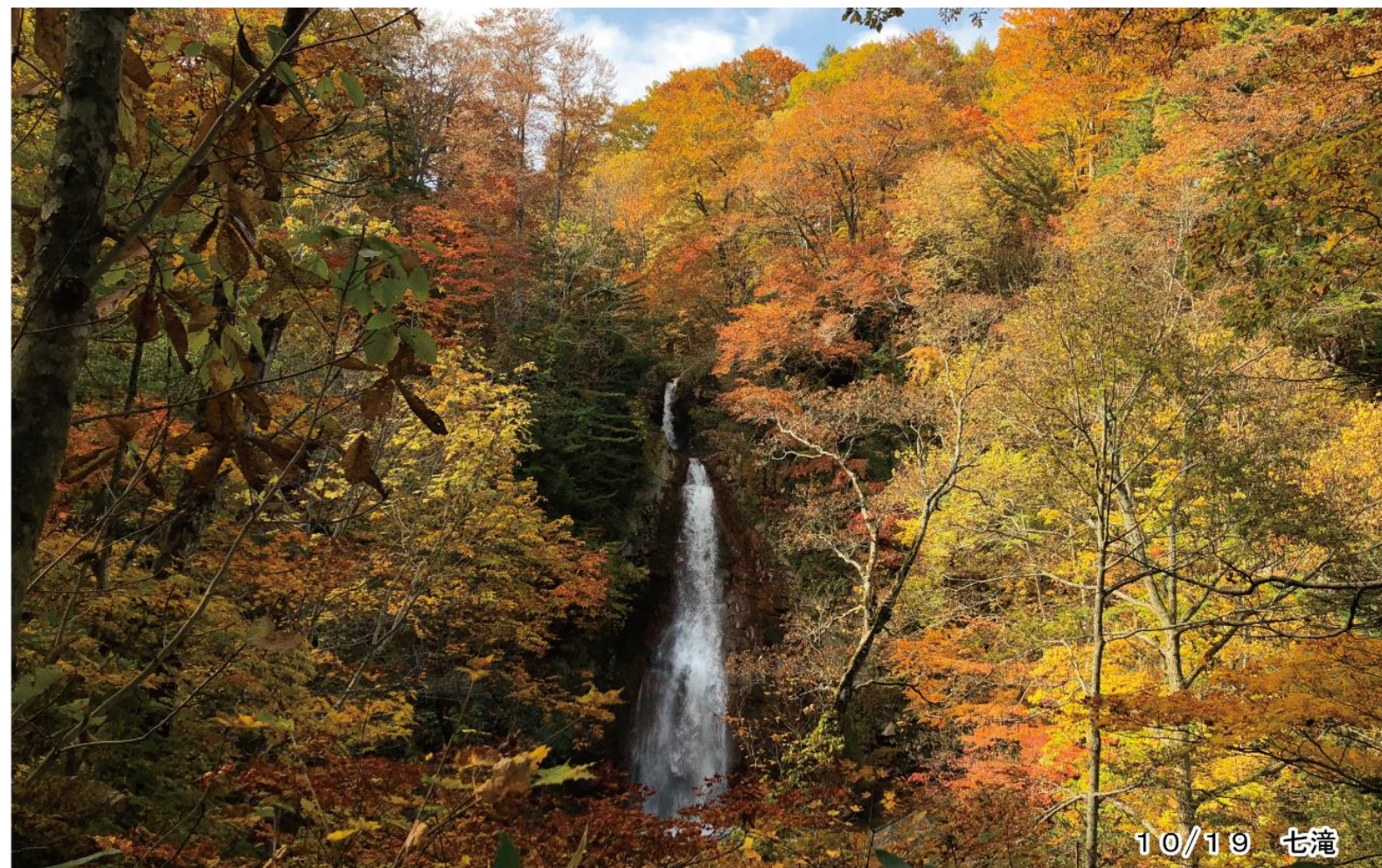
県民の森だより

2018.

11

Vol.154

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)



10/19 七滝

鮮

やかな黄・緑・赤・橙色に色づいた木々たちは、今年も県民の森の秋を賑わせてくれました。森の大橋から望む溪谷と紅葉のコラボレーションや、勢いよく流れ落ちる七滝の大迫力と周りを彩る紅葉など、いたる場所で違った楽しみ方がありました。さて、落葉が始まった県民の森では、すでに冬の気配が近付いてきています。岩手山にも、うっすらと白い雪が覆い、また次の新しい季節が訪れることにワクワクします。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

休館日：毎週火曜

年末年始 (12/29-1/3)

岩手県県民の森

検索

県民の森 行事より

10月19日開催

紅葉の自然観察会
～七滝・魚止めの滝めぐり～

紅葉の時期、たくさんの方が見に行く大人気の秋の七滝と、柳沢にある魚止めの滝を目指す観察会が開催されました。すっきりと晴れた中、水しぶきを上げながら落ちる滝を下から眺めた参加者は、その迫力に驚いていました。また、中々行く事のできない魚止めの滝では、滝壺の水の透明度や包まれるような紅葉に感動していました。



10月21日開催

秋の自然観察会

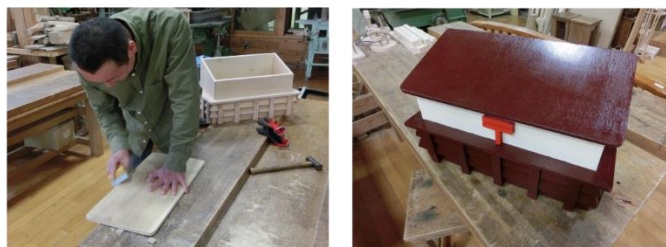
春・夏にも行われた、ガイドと一緒にゆっくり園内を散策する観察会が行われました。丁度、紅葉の時期という事もあり、ガイドの説明を聞きながら紅葉も楽しみました。サルナシの実を実際食べてみて、感想を言い合ってみたり、中にはメモを取りながらガイドの話熱心に聞いたりなど、とても内容の濃い観察会となりました。これを機に、もっと県民の森の植物に興味を持ってもらえたら嬉しいです。



10月27日開催

木工教室 ポスト

今回の木工教室は、組立てから塗装まで体験できるポストを作りました。丁寧にヤスリをかけてから、慎重に筆で色を塗っていきます。ポストの下部部分が複雑な造りになっているため、少し塗ったらドライヤーを使って乾かすことを繰り返し塗り進めていきます。参加した方は細かい作業は嫌いではないと話していて、集中しながらコツコツと作っていました。



八幡平紅葉まつりが開催されました

美しい紅葉の始まりと晴天の中、10月13・14日の2日間を通して、八幡平市観光協会が主催する『八幡平紅葉まつり』が県民の森にて開催され、大盛況に終わりました。県内外からたくさんの来場者が来てくださり、ステージイベントや屋台を楽しんでいました。



ご来場ありがとうございました!

土の中の お掃除屋 さん

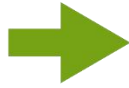


紅葉も終わり、園内にはたくさんの落ち葉が地面に落ちています。
森に積もった落ち葉は、いつの間にか消えていきます。
なぜ葉っぱは無くなるの？一体どこに行ったのでしょうか？



実は、落ち葉の下の中には、
眼では見えない程の小さな生き物が
一握りの中に、何億・何兆といるのです

その正体は・・・



どじょうせいぶつ

「土壤生物！」

◎土壤生物とは？

微生物や、ミミズ・昆虫の幼虫などの地中動物のこと。

枯れ枝や落ち葉を食べて、体内を通り排泄されるとフカフカの土を作っていきます。

また、ミミズなどは硬い土にトンネルを掘って、水や植物の根が通りやすくなるのと同時に、土壌をフカフカに耕してくれるのです！

落ち葉は僕たちの
美味しいご飯！



ドングリも守る落ち葉

県民の森でもドングリが木から落ち、いたるところで見かけられ、
厳しい冬を乗り切る準備をしています。

落ち葉が土の上に重なることで、地面の乾燥を防ぐ役割も果たしています。
適度な湿度と日当たりのある場所では、新しい芽が出る可能性も高まります。

土の中では私達が知らない間に
たくさんの小さな生き物たちが黙々と働いているのです！

県民の森でリース作り！

今年もあと1ヶ月程でクリスマスがやってきます。

県民の森ではクリスマスをもっと素敵にするためのリースの飾り付け
が体験できるんです♪オリジナルのクリスマスリースを作って
お家に飾ってみませんか？



リースの飾り付け
¥800



大きなリースも登場★



材料の制限なし！
色んな材料で
素敵な作品を作ろう！

工作体験の最終受付は15:00です。



今回紹介する植物は、鮮やかな実が特徴的な「カンボク」という低木です。

山地の湿った林に多く生える木で、それほど高い木ではありません。アジサイに似た花が春に咲きます。秋には鮮やかに赤くなって熟した実がたくさんつきます。果実は、鳥たちには不人気なようで（苦くて美味しくなく）、そのことから別名『鳥食わず』とも呼ばれているそうです。葉が落ちて実はずついたので、他の植物が色を無くす中、カンボクの赤い実がさらに目立ちます。

たくさん実をつけたまま冬を越し、雪をかぶると赤が映えてより一層綺麗です。

木材としては、白くて丈夫な点から、楊枝や道具類の柄として利用されることがあります。

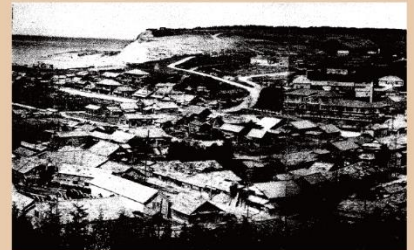


ギャラリー展示情報

かつて、地下資源・水産・林業・農業と開発が進み、43万人の豊かな生活があった樺太の歴史を写真によって見るすることができます。全国樺太連盟・北海道事務所さんより提供を受けた、日本に残る貴重な樺太全盛期の様子が分かる写真展となっています。

樺太写真展

- ◆ 展示者 高村 正信 氏
(提供：全国樺太連盟北海道事務所)
- ◆ 展示内容 写真展
- ◆ 料金 無料
- ◆ 場所 岩手県県民の森 森林ふれあい学習館 2階ギャラリー



※開館時間は9：00～16：00

県民の森 行事案内

◆木工教室 干支（亥）

定員 10名



実物は当日のお楽しみ！

平成30年12月9日（日）
 9時00分～15時30分
 参加費：2,000円（着色料別途1,000円）
 集合場所：県民の森 木材工芸センター
 持ち物：昼食・飲み物 など
 ※作業しやすい服装でお越しください

◆門松教室

定員 30名



平成30年12月23日（日）
 9時00分～12時00分
 参加費：3,500円（一対）
 集合場所：県民の森 フォレストアイ
 持ち物：剪定ばさみ・軍手・上履き など
 ※作業しやすい服装でお越しください

※各種行事は全て予約制。定員になり次第締め切りとなります。